

デジタル庁
告示第十九号
総務省

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第七条第一項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち全ての地方公共団体情報システムに共通して実装することができる機能の標準を定める命令（令和八年デジタル庁・総務省令第十号）第五条第二項の規定に基づき、庁内データ連携機能のうちAPI連携の詳細な技術仕様を次のとおり定める。

令和八年三月二十四日

内閣総理大臣 高市 早苗

総務大臣 林 芳正

(API連携の認証認可)

第一条 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第七条第一項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち全ての地方公共団体情報システムに共通して実装することができる機能の標準を定める命令（以下「命令」という。）第五条第二項の規定に基づく庁内データ連携機能におけるAPI連携は別表第一、別表第一付表第一、別表第一付表第二及び別表第一付表第三、別表第二、別表第二付表第

一、別表第二付表第二及び別表第二付表第三並びに別表第三、別表第三付表第一、別表第三付表第二及び別表第三付表第三に掲げる方式によりAPI連携を利用する地方公共団体情報システムの認証認可を行うものとする。

(住登外者宛名番号管理機能とのAPI連携)

第二条 命令第五条第二項の規定に基づくAPI連携の技術仕様のうち住登外者宛名番号管理機能と地方公共団体情報システムの連携に必要なAPI連携の技術仕様は、別表第四、別表第四付表第一及び別表第四付表第二並びに別表第五、別表第五付表第一及び別表第五付表第二に掲げるとおりとする。

附 則

この告示は、令和八年四月一日から適用する。

別表第一（第一条関係）

別表第一の適用に関する通則

- 一 認証単位は業務ID若しくは独自施策システム等ID単位の認証とする。なお、システム利用者ごとにAPIの利用可否を認可するものではない。
- 二 トークン発行方式は、Client Credentials Grantとする。なお、アクセストークンのみの発行とし、リフレッシュトークンの発行は許容しない
- 三 提供側業務システムは、認証認可サーバのイントロスペクションAPIを用いてアクセストークンの情報を取得すること。
- 四 アクセストークンは十分に短いライフサイクル（有効期限）を設定すること。
- 五 利用側業務システムが複数の提供側業務システムにアクセスする場合には、提供側業務システムごとにアクセストークンを発行する。アクセストークンの権限を最小に留めるため、複数の提供側業務システムへアクセス可能なアクセストークンの発行は行わないこと。
- 六 クライアントタイプはConfidential Clientとする。
- 七 採用する認証方式：client_secret_jwtの標準規格に従い、対称鍵であるHS256（ハッシュ関数としてSHA-256を用いたHMAC）とする。
- 八 クライアントIDはクライアントを一意に識別するためのIDであり、「0-9」「A-Z」「a-z」の文字で構成される32文字の文字列とする。
- 九 クライアントシークレットはクライアントを認証する際に利用し、クライアントIDの所有者であることを確認するもので、32文字以上の文字列とする。
- 十 利用側業務システムの単位でクライアントIDを発行するものとする。
- 十一 Bearerトークンの送信方法はAuthorization Request Header Fieldとし、Authorizationヘッダに取得したアクセストークンを設定する。なお、利用側業務システムは一度のリクエストにおいて、複数の送信方法を同時に用いてはならない。

概要

本資料はOAuth2.0アクセストークン発行を実施するためのAPI仕様について記述したものである。
 「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第7条第1項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち電磁的記録において用いられる用語及び符号の相互運用性の確保その他の地方公共団体情報システムに係る互換性の確保に関する標準を定める命令（令和8年デジタル庁・総務省令第8号）」の「文字要件」で定めた標準仕様に従う必要がある。
 本APIでサポートするHTTPメソッドはPOSTとする。

提供可能なAPIコールについて

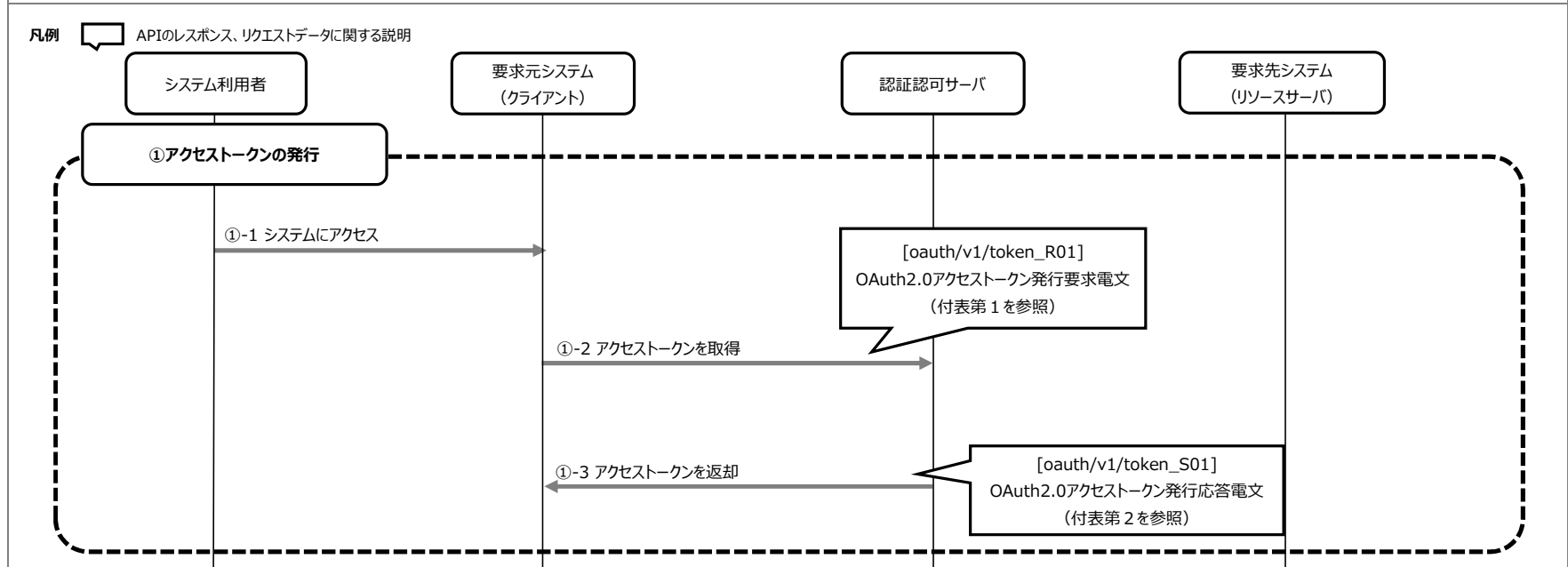
提供するAPIコールは、以下のとおりである。

No.	APIコール名	操作種類	概要
1	oauth/v1/token	Create	OAuth2.0アクセストークン発行を実施する。

APIコールにおける補足事項

- 通信プロトコル
本APIを利用する際の通信プロトコルは、HTTP1.1以上を採用する。
- 要求元認証
本APIの要求元認証は、認証方式：client_secret_jwtで行う。

シーケンス図



別表第一付表第一（第一条関係）

使用方法									
<p>本APIを使用してOAuth2.0アクセストークンの発行を要求する。 正常に発行が完了した場合は、アクセストークンが返却される。正常に発行されなかった場合は、失敗した理由がエラーメッセージとして返却される。 Content-typeにapplication/x-www-form-urlencodedを指定してデータを送信する形式でリクエストし、JSON形式で返却される。 HTTPメソッド：POST リクエストヘッダー：Content-Type: application/x-www-form-urlencoded</p>									
留意事項									
<p>本APIが正常に終了した場合は、HTTPステータスコード200とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第2を参照） 送信したパラメータのチェックにてエラーとなった場合は、HTTPステータスコード400とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第2を参照） クライアント認証情報（クライアントアサーション）が取得できない場合は、HTTPステータスコード401とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第2を参照） 処理が30秒以上経過した場合は、タイムアウトとなる。タイムアウトが発生した場合、原則HTTPステータスコード500番台のエラーが返却される。（JSON形式では返却されない）※目安として30秒と記載しているが、性能テストを踏まえ、適切なタイムアウト時間を設定されたい サービスメンテナンス時も同様に原則HTTPステータスコード500番台のエラーが返却される。（JSON形式では返却されない）</p> <p>上記以外の想定外エラーが発生した場合は、HTTPステータスコード503とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第2を参照）</p> <p>※1【必須】：「◎」・・・パラメータまたはオブジェクトが必ず出現する。</p>									
リクエストID		oauth/v1/token_R01							
パラメータ									
項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須 ※1	データ 型	文字種	データ長 桁数	検索 方法	備考
1	grant_type	グラントタイプ	利用するOAuth2.0のグラントタイプを指定する	◎	文字列	半角 英字 記号	18		"client_credentials"で固定
2	client_assertion_type	クライアントアサーションタイプ	利用するOAuth2.0のクライアントアサーションタイプ	◎	文字列	半角 英字 記号	54		"urn:ietf:params:oauth:client-assertion-type:jwt-bearer"で固定
3	client_assertion	クライアントアサーション	クライアントIDとクライアントシークレットから作成したクライアントアサーションJWT	◎	文字列	半角 英数字 記号	-		生成方法は「付表第3」参照
4	scope	利用するAPIのリスト	利用するAPIに対応するスコープを 「\${提供側業務システムの業務システムID}:\${リソース名}:\${操作名}」で指定する スコープの文字列は下記に示す対応に基づいて決定する。 ・提供側業務システムの業務システムID：「地方自治体の基幹業務システムの統一・標準化における各種IDの管理方針」の業務ID ・リソース名：「別表第4及び別表第5」のAPIコール名 ・操作名：「別表第4及び別表第5」の操作種類 複数のスコープの指定が必要である場合は、スペース区切りで指定する。	◎	文字列	半角 英数字 記号	-		複数の提供側業務システムにアクセスする場合は、提供側業務システムごとに最小限のスコープを付与すること。

別表第一付表第二（第一条関係）

留意事項										
※1【必須】：「◎」…パラメータまたはオブジェクトが必ず出現する。										
※2【null設定有無】：「-」…値にnullは設定されない。										
レスポンスID		oauth/v1/token_S01								
項番	レベル	レスポンスオブジェクト名 階層	項目名	項目説明	必須 ※1	null設 定有無 ※2	デー タ型	文字種	デー タ長 桁数	備考
■ 正常系（HTTPステータスコード：200、JSON形式でのレスポンス）										
1	1	レスポンスオブジェクト			◎	-	構造化	-	-	
2	2	access_token	アクセストークン	アクセストークンの文字列	◎	-	文字列	半角 英数字	-	データ長の桁数は、発行するアクセストークンの文字列長を指定
3	2	token_type	トークンタイプ	アクセストークンの種別	◎	-	文字列	半角 英字	6	"Bearer"固定
4	2	expires_in	有効期間	アクセストークンの有効期間	◎	-	数値	-	-	単位は秒
5	2	scope	スコープ	アクセストークンに紐付くスコープの一覧	◎	-	文字列	半角 英数字 記号	-	発行したトークンに紐付いているスコープ
6					◎	-	構造化	-	-	
■ 正常系エラー（HTTPステータスコード：400 or 401、JSON形式でのレスポンス）										
1	1	レスポンスオブジェクト			◎	-	構造化	-	-	
2	2	error	エラーコード	エラーコード	◎	-	文字列	半角 英数字 記号	-	
3	2	error_description	エラーメッセージ	エラーの内容	◎	-	文字列	全角 半角 英字	-	
4					◎	-	構造化	-	-	
■ 異常系（HTTPステータスコード：503、JSON形式でのレスポンス(ただし、30秒以上タイムアウトエラー、サービスメンテナンス中は、原則HTTPステータスコード500番台のエラーが返却され、JSON形式では返却されない)）										
-	-	ボディなし			-	-	-	-	-	

エラーコード一覧

項番	エラーコード	エラーの内容	HTTPステータスコード
1	invalid_request	必須のパラメータが設定されていない、パラメータのフォーマットが異なる、などのパラメータエラー。	400
2	invalid_client	未登録のクライアントからのリクエスト、クライアントアサーションJWTが存在しない、クライアントアサーションJWTの検証が失敗するなどの場合。	401
3	unauthorized_client	登録はされているが、利用を許可されていないリクエスト元からのアクセスの場合。	401
4	unsupported_grant_type	grant_type に client_credential 以外が指定されていた場合。	400
5	invalid_scope	指定されたScopeに解釈できるものが存在しない場合など。	400

別表第一付表第三（第一条関係）

クライアントアサーションJWT生成方法

本APIのリクエストに必要なクライアントアサーションJWTの生成方法を記載する。

生成方法

- 1) ヘッダ部分のJSON文字列をbase64urlエンコードする
- 2) ペイロード部分のJSON文字列をbase64urlエンコードする
- 3) 1)で作成したbase64urlエンコード後の文字列と2)で作成したbase64urlエンコード後の文字列を"."で接続した文字列を、クライアントシークレットをキーに利用して、HMAC SHA-256アルゴリズムで計算した値をbase64urlエンコードする
- 4) 1)で作成したbase64urlエンコード後の文字列、2)で作成したbase64urlエンコード後の文字列、3)で作成したbase64urlエンコード後の文字列を"."で接続した値が、クライアントアサーションJWT

※1 【必須】 : 「◎」… パラメータまたはオブジェクトが必ず出現する。

ヘッダ (JSON)

項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須 ※1	データ 型	文字種	データ長	検索 方法	備考
							桁数		
1	alg	アルゴリズム	署名のアルゴリズム	◎	文字列	半角 英字 記号	5		"HS256"固定

ペイロード (JSON)

項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須 ※1	データ 型	文字種	データ長	検索 方法	備考
							桁数		
1	iss	発行者	クライアントアサーションJWTの発行者	◎	文字列	半角 英数字 記号	32		要求元システムのクライアントIDを指定（32文字）
2	sub	主体	クライアントアサーションJWTの主体	◎	文字列	半角 英数字 記号	32		要求元システムのクライアントIDを指定（32文字）
3	aud	対象者	クライアントアサーションJWTの発行対象者	◎	文字列	半角 英数字 記号	-		基本的には、認証認可サーバのURL(認証認可サーバのissuerの値)を含むものとする ただし、認証認可サーバを示す識別子の範囲を超えない限り（トークンエンドポイント等）、認証認可サーバ側の判断による変更も可能とする。変更する場合は、RP側に必ずその旨を伝えること。
4	jti	JWT ID	JWTのID	◎	文字列	半角 英数字 記号	-		発行者が発行したJWTを一意に識別するためのID データの桁数は、一意に識別するために十分なエンтроピーが確保可能な桁数を指定
5	exp	有効期限	クライアントアサーションJWTの有効期限	◎	数値	半角 数字	10		発行されたクライアントアサーションJWTの有効期限のUNIX時間
6	iat	発行時刻	クライアントアサーションJWTの発行時刻	◎	数値	半角 数字	10		発行されたクライアントアサーションJWTの発行時刻のUNIX時間

別表第二（第一条関係）

別表第2の適用に関する通則

別表第1の通則の規定は、この表の適用について準用する。

概要
 本資料はOAuth2.0アクセストークン情報取得を実施するためのAPI仕様について記述したものである。
 「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第7条第1項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち電磁的記録において用いられる用語及び符号の相互運用性の確保その他の地方公共団体情報システムに係る互換性の確保に関する標準を定める命令（令和8年デジタル庁・総務省令第8号）」の「文字要件」で定めた標準仕様に従う必要がある。
 本APIでサポートするHTTPメソッドはPOSTとする。

提供可能なAPIコールについて

提供するAPIコールは、以下のとおりである。

No.	APIコール名	操作種類	概要
1	oauth/v1/introspect	Refer	OAuth2.0アクセストークン情報取得を実施する。

APIコールにおける補足事項

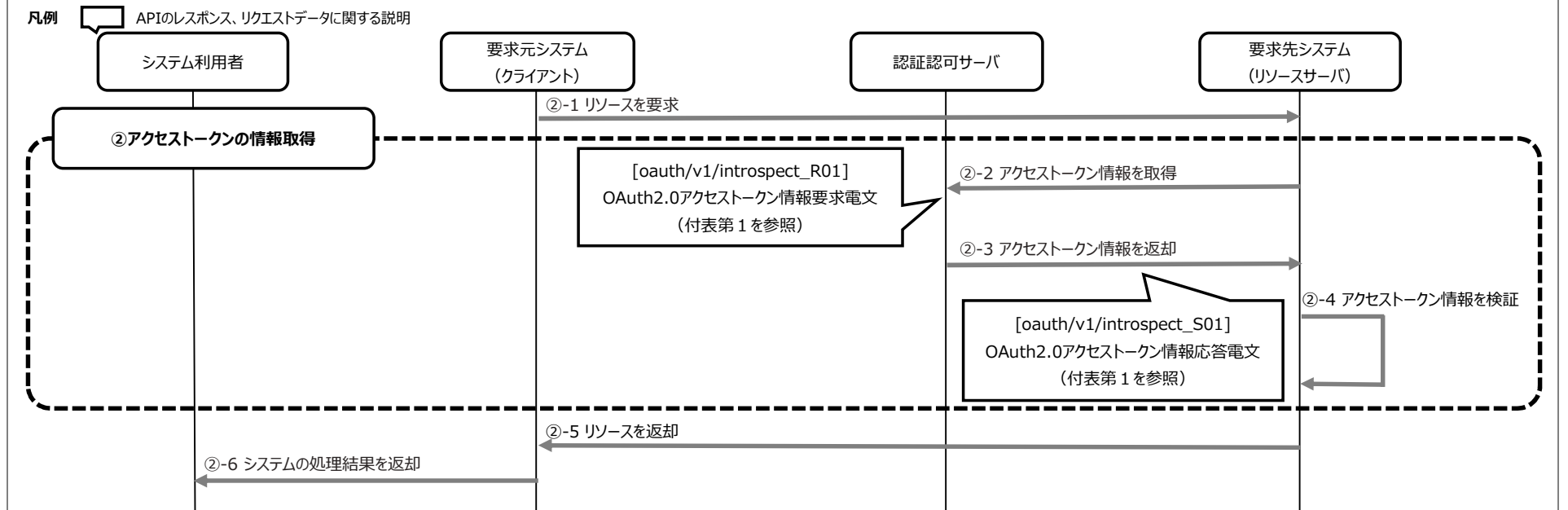
■通信プロトコル

本APIを利用する際の通信プロトコルは、HTTP1.1以上を採用する。

■要求元認証

本APIの要求元認証は、認証方式：client_secret_jwtで行う。

シーケンス図



別表第二付表第一（第一条関係）

<p>使用方法</p> <p>本APIを使用してOAuth2.0アクセストークンの情報取得を要求する。 正常に処理が完了した場合は、アクセストークンの情報取得結果が返却される。正常に処理されなかった場合は、失敗した理由がエラーメッセージとして返却される。 Content-typeにapplication/x-www-form-urlencodedを指定してデータを送信する形式でリクエストし、JSON形式で返却される。 HTTPメソッド：POST リクエストヘッダー：Content-Type: application/x-www-form-urlencoded</p>
<p>留意事項</p> <p>本APIが正常に終了した場合は、HTTPステータスコード200とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第2を参照） 送信したパラメータのチェックにてエラーとなった場合は、HTTPステータスコード400とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第2を参照） クライアント認証情報（クライアントアサーション）が取得できない場合は、HTTPステータスコード401とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第2を参照） 処理が30秒以上経過した場合は、タイムアウトとなる。タイムアウトが発生した場合、原則HTTPステータスコード500番台のエラーが返却される。（JSON形式では返却されない）※目安として30秒と記載しているが、性能テストを踏まえ、適切なタイムアウト時間を設定されたい サービスメンテナンス時も同様に原則HTTPステータスコード500番台のエラーが返却される。（JSON形式では返却されない）</p> <p>上記以外の想定外エラーが発生した場合は、HTTPステータスコード503とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第2を参照）</p> <p>※1【必須】：「◎」… パラメータまたはオブジェクトが必ず出現する。</p>

リクエストID | oauth/v1/introspect_R01
 パラメータ

項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須 ※1	データ 型	文字種	データ長	検索 方法	備考
							桁数		
1	token	トークン	情報を取得するトークン文字列	◎	文字列	半角 英字 記号	-		アクセストークンの文字列を指定
2	token_type_hint	トークンの種類	情報を取得するトークンの種類	◎	文字列	半角 英字 記号	12		"access_token"で固定
3	client_assertion_type	クライアントアサーションタイプ	利用するOAuth2.0のクライアントアサーションタイプ	◎	文字列	半角 英字 記号	54		"urn:iETF:params:oauth:client-assertion-type:jwt-bearer"で固定
4	client_assertion	クライアントアサーション	クライアントIDとクライアントシークレットから作成したクライアントアサーションJWT	◎	文字列	半角 英数字 記号	-		生成方法は「付表第3」参照

別表第二付表第二（第一条関係）

注意事項										
※1【必須】：「◎」…パラメータまたはオブジェクトが必ず出現する。「」（空白）…パラメータまたはオブジェクトが出現しない場合がある。										
※2【null設定有無】：「○」…値にnullが設定される場合がある。「-」…値にnullは設定されない。										
レスポンスID : oauth/v1/introspect_S01										
項番	レベル	レスポンスオブジェクト名 階層	項目名	項目説明	必須 ※1	null設 定有無 ※2	デー タ 型	文字種 類	デー タ長 桁数	備考
■ 正常系（HTTPステータスコード：200、JSON形式でのレスポンス）										
1	1	レスポンスオブジェクト			◎	-	構造化	-	-	
2	2	active	アクティブ	アクセストークンのアクティブ状態	◎	-	boolean	-	-	アクティブなトークンの場合はtrue、そうでない場合はfalseを指定
3	2	scope	スコープ	アクセストークンに紐付くスコープの一覧	-	○	文字列	半角 英数字 記号	-	発行したトークンに紐付いているスコープ ("active": trueの場合のみ必須)
4	2	iss	発行者	アクセストークンの発行者	-	○	文字列	半角 英数字 記号	32	認証認可サーバのURL ("active": trueの場合のみ必須)
5	2	client_id	クライアントID	アクセストークン発行対象のクライアント	-	○	文字列	半角 英字	32	32文字のクライアントID ("active": trueの場合のみ必須)
6	2	token_type	トークンタイプ	アクセストークンの種別	-	○	文字列	半角 英字	6	"Bearer"固定 ("active": trueの場合のみ必須)
7	2	exp	有効期限	アクセストークンの有効期限	-	○	数値	半角 数字	10	発行されたクライアントアセッションJWTの有効期限のUNIX時間 ("active": trueの場合のみ必須)
8	2	iat	発行時刻	アクセストークンの発行時刻	-	○	数値	半角 数字	10	発行されたクライアントアセッションJWTの発行時刻のUNIX時間 ("active": trueの場合のみ必須)
9					◎	-	構造化	-	-	
■ 正常系エラー（HTTPステータスコード：400 or 401、JSON形式でのレスポンス）										
1	1	レスポンスオブジェクト			◎	-	構造化	-	-	
2	2	error	エラーコード	エラーコード	◎	-	文字列	半角 英数字	-	
3	2	error_description	エラーメッセージ	エラーの内容	◎	-	文字列	全角 半角 英字	-	
4					◎	-	構造化	-	-	
■ 異常系（HTTPステータスコード：503、JSON形式でのレスポンス(ただし、30秒以上タイムアウトエラー、サービスマンテナンス中は、原則HTTPステータスコード500番台のエラーが返却され、JSON形式では返却されない)）										
-	-	ボディなし			-	-	-	-	-	
エラーコード一覧										
項番	エラーコード	エラーの内容	HTTPステータスコード							
1	invalid_request	必須のパラメータが設定されていない、パラメータのフォーマットが異なる、などのパラメータエラー。	400							
2	invalid_client	未登録のクライアントからのリクエスト、クライアントアセッションJWTが存在しない、クライアントアセッションJWTの検証が失敗するなどの場合。	401							
3	unauthorized_client	登録はされているが、利用を許可されていないリクエスト元からのアクセスの場合。	401							

別表第二付表第三（第一条関係）

クライアントアサーションJWT生成方法

本APIのリクエストに必要なクライアントアサーションJWTの生成方法を記載する。

生成方法

- 1) ヘッダ部分のJSON文字列をbase64urlエンコードする
- 2) ペイロード部分のJSON文字列をbase64urlエンコードする
- 3) 1)で作成したbase64urlエンコード後の文字列と2)で作成したbase64urlエンコード後の文字列を"."で接続した文字列を、クライアントシークレットをキーに利用して、HMAC SHA-256アルゴリズムで計算した値をbase64urlエンコードする
- 4) 1)で作成したbase64urlエンコード後の文字列、2)で作成したbase64urlエンコード後の文字列、3)で作成したbase64urlエンコード後の文字列を"."で接続した値が、クライアントアサーションJWT

※1【必須】：「◎」… パラメータまたはオブジェクトが必ず出現する。

ヘッダ (JSON)

項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須 ※1	データ 型	文字種	データ長	検索 方法	備考
							桁数		
1	alg	アルゴリズム	署名のアルゴリズム	◎	文字列	半角 英字 記号	5		"HS256"固定

ペイロード (JSON)

項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須 ※1	データ 型	文字種	データ長	検索 方法	備考
							桁数		
1	iss	発行者	クライアントアサーションJWTの発行者	◎	文字列	半角 英数字 記号	32		要求元システムのクライアントIDを指定（32文字）
2	sub	主体	クライアントアサーションJWTの主体	◎	文字列	半角 英数字 記号	32		要求元システムのクライアントIDを指定（32文字）
3	aud	対象者	クライアントアサーションJWTの発行対象者	◎	文字列	半角 英数字 記号	-		基本的には、認証認可サーバのURL(認証認可サーバのissuerの値)を含むものとする ただし、認証認可サーバを示す識別子の範疇を超えない限り（トークンエンドポイント等）、認証認可サーバ側の判断による変更も可能とする。変更する場合は、RP側に必ずその旨を伝えること。
4	jti	JWT ID	JWTのID	◎	文字列	半角 英数字 記号	-		発行者が発行したJWTを一意に識別するためのID データの桁数は、一意に識別するために十分なエントロピーが確保可能な桁数を指定
5	exp	有効期限	クライアントアサーションJWTの有効期限	◎	数値	半角 数字	10		発行されたクライアントアサーションJWTの有効期限のUNIX時間
6	iat	発行時刻	クライアントアサーションJWTの発行時刻	◎	数値	半角 数字	10		発行されたクライアントアサーションJWTの発行時刻のUNIX時間

別表第三（第一条関係）

別表第3の適用に関する通則

別表第1の通則の規定は、この表の適用について準用する。

概要

本資料はOAuth2.0アクセストークンの無効化を実施するためのAPI仕様について記述したものである。

「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第7条第1項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち電磁的記録において用いられる用語及び符号の相互運用性の確保その他の地方公共団体情報システムに係る互換性の確保に関する標準を定める命令（令和8年デジタル庁・総務省令第8号）」の「文字要件」で定めた標準仕様に従う必要がある。

本APIでサポートするHTTPメソッドはPOSTとする。

提供可能なAPIコールについて

提供するAPIコールは、以下のとおりである。

No.	APIコール名	操作種類	概要
1	oauth/v1/ revoke	revoke	OAuth2.0アクセストークンの無効化を実施する。

APIコールにおける補足事項

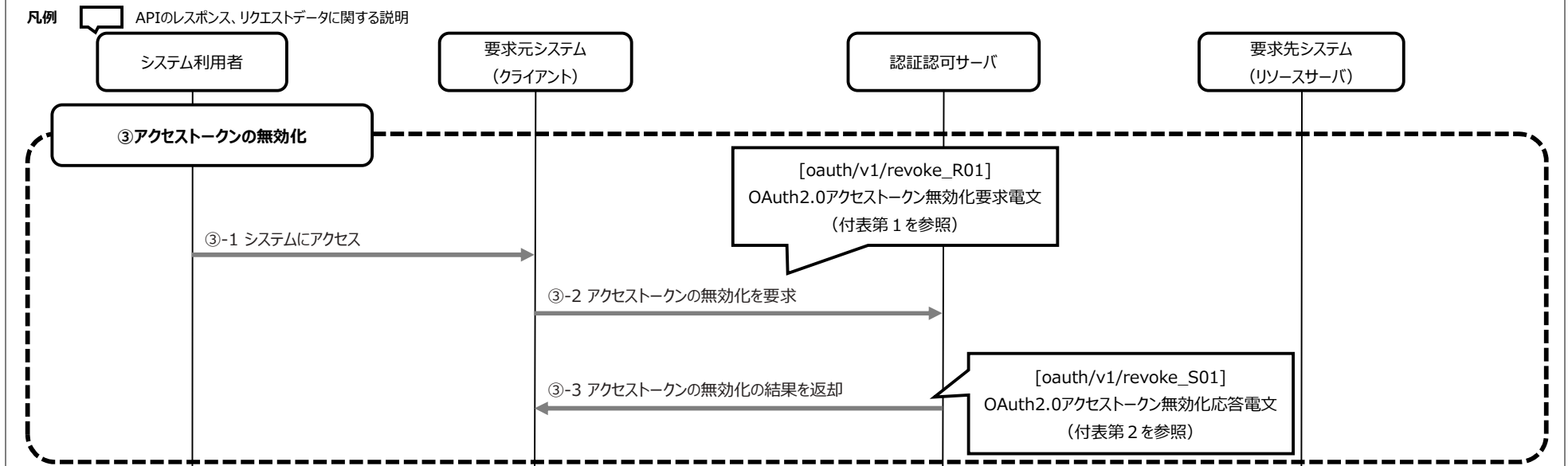
■ 通信プロトコル

本APIを利用する際の通信プロトコルは、HTTP1.1以上を採用する。

■ 要求元認証

本APIの要求元認証は、認証方式：client_secret_jwtで行う。

シーケンス図



別表第三付表第一（第一条関係）

使用方法
 本APIを使用してOAuth2.0アクセストークンの無効化を要求する。
 正常に処理が完了した場合は、アクセストークンの無効化が実施される。正常に処理されなかった場合は、失敗した理由がエラーメッセージとして返却される。
 Content-type: application/x-www-form-urlencodedを指定してデータを送信する形式でリクエストし、JSON形式で返却される。
 HTTPメソッド：POST
 リクエストヘッダー：Content-Type: application/x-www-form-urlencoded

留意事項
 本APIが正常に終了またはアクセストークンが既に無効の場合は、HTTPステータスコード200とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第2を参照）
 送信したパラメータのチェックにてエラーとなった場合は、HTTPステータスコード400とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第2を参照）
 未登録のクライアントの場合は、HTTPステータスコード401とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第2を参照）
 処理が30秒以上経過した場合は、タイムアウトとなる。タイムアウトが発生した場合、原則HTTPステータスコード500番台のエラーが返却される。（JSON形式では返却されない）※目安として30秒と記載しているが、性能テストを踏まえ、適切なタイムアウト時間を設定されたい
 サービスメンテナンス時も同様に原則HTTPステータスコード500番台のエラーが返却される。（JSON形式では返却されない）

 上記以外の想定外エラーが発生した場合は、HTTPステータスコード503とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第2を参照）

 ※1【必須】：「◎」… パラメータまたはオブジェクトが必ず出現する。

リクエストID | oauth/v1/ revoke_R01

項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須 ※1	データ 型	文字種	データ長	検索 方法	備考
							桁数		
1	token	トークン	無効化をするトークン文字列	◎	文字列	半角 英字 記号	-		アクセストークンの文字列を指定
2	token_type_hint	トークンの種類	無効化をするトークンの種類	◎	文字列	半角 英字 記号	12		"access_token"で固定
3	client_assertion_type	クライアントアサーションタイプ	利用するOAuth2.0のクライアントアサーションタイプ	◎	文字列	半角 英数字 記号	54		"urn:ietf:params:oauth:client-assertion-type:jwt-bearer"で固定
4	client_assertion	クライアントアサーション	クライアントIDとクライアントシークレットから作成したクライアントアサーションJWT	◎	文字列	半角 英数字 記号	-		生成方法は「付表第3」参照

別表第三付表第二（第一条関係）

留意事項										
※1【必須】：「◎」…パラメータまたはオブジェクトが必ず出現する。「」（空白）…パラメータまたはオブジェクトが出現しない場合がある。										
※2【null設定有無】：「-」…値にnullは設定されない。										
レスポンスID		oauth/v1/ revoke_ S01								
項番	レベル	レスポンスオブジェクト名 階層	項目名	項目説明	必須 ※1	null設 定有無 ※2	デー タ 型	文字種	データ長 桁数	
■ 正常系（HTTPステータスコード：200、JSON形式でのレスポンス）										
-	-	ボディなし			-	-	-	-	-	
■ 正常系エラー（HTTPステータスコード：400, 401, 403, or 200、JSON形式でのレスポンス）										
1	1	レスポンスオブジェクト			◎	-	構造化	-	-	
2	2	error	エラーコード	エラーコード	◎	-	文字列	半角 英数字 記号	-	
3	2	error_description	エラーメッセージ	エラーの内容	◎	-	文字列	全角 半角 英字	-	
4					◎	-	構造化	-	-	
■ 異常系（HTTPステータスコード：503、JSON形式でのレスポンス(ただし、30秒以上タイムアウトエラー、サービスメンテナンス中は、原則HTTPステータスコード500番台のエラーが返却され、JSON形式では返却されない)）										
-	-	ボディなし			-	-	-	-	-	
エラーコード一覧										
項番	エラーコード	エラーの内容			HTTPステータスコード					
1	invalid_request	必須のパラメータが設定されていない、パラメータのフォーマットが異なる、などのパラメータエラー。			400					
2	invalid_client	未登録のクライアントからのリクエストの場合。			401					
3	invalid_token	アクセストークンが期限切れ、失効、または指定されたアクセストークンが存在しない場合。			200					

別表第三付表第三（第一条関係）

クライアントアサーションJWT生成方法										
本APIのリクエストに必要なクライアントアサーションJWTの生成方法を記載する。										
生成方法										
1) ヘッダ部分のJSON文字列をbase64urlエンコードする										
2) ペイロード部分のJSON文字列をbase64urlエンコードする										
3) 1)で作成したbase64urlエンコード後の文字列と2)で作成したbase64urlエンコード後の文字列を"."で接続した文字列を、クライアントシークレットをキーに利用して、HMAC SHA-256アルゴリズムで計算した値をbase64urlエンコードする										
4) 1)で作成したbase64urlエンコード後の文字列、2)で作成したbase64urlエンコード後の文字列、3)で作成したbase64urlエンコード後の文字列を"."で接続した値が、クライアントアサーションJWT										
※1 【必須】 : 「◎」… パラメータまたはオブジェクトが必ず出現する。										
ヘッダ (JSON)										
項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須 ※1	データ 型	文字種	データ長 桁数	検索 方法	備考	
1	alg	アルゴリズム	署名のアルゴリズム	◎	文字列	半角 英字 記号	5		"HS256"固定	
ペイロード (JSON)										
項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須 ※1	データ 型	文字種	データ長 桁数	検索 方法	備考	
1	iss	発行者	クライアントアサーションJWTの発行者	◎	文字列	半角 英数字 記号	32		要求元システムのクライアントIDを指定（32文字）	
2	sub	主体	クライアントアサーションJWTの主体	◎	文字列	半角 英数字 記号	32		要求元システムのクライアントIDを指定（32文字）	
3	aud	対象者	クライアントアサーションJWTの発行対象者	◎	文字列	半角 英数字 記号	-		基本的には、認証認可サーバのURL(認証認可サーバのissuerの値)を含むものとする ただし、認証認可サーバを示す識別子の範囲を超えない限り（トークンエンドポイント等）、認証認可サーバ側の判断による変更も可能とする。変更する場合は、RP側に必ずその旨を伝えること。	
4	jti	JWT ID	JWTのID	◎	文字列	半角 英数字 記号	-		発行者が発行したJWTを一意に識別するためのIDデータの桁数は、一意に識別するために十分なエントロピーが確保可能な桁数を指定	
5	exp	有効期限	クライアントアサーションJWTの有効期限	◎	数値	半角 数字	10		発行されたクライアントアサーションJWTの有効期限のUNIX時間	
6	iat	発行時刻	クライアントアサーションJWTの発行時刻	◎	数値	半角 数字	10		発行されたクライアントアサーションJWTの発行時刻のUNIX時間	

別表第四（第二条関係）

別表第4の適用に関する通則

別表第1の通則の規定は、この表の適用について準用する。

概要

本資料は、住登外者宛名番号付番APIをAPIコールして実施するためのAPI仕様について記述したものである。

「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第7条第1項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち電磁的記録において用いられる用語及び符号の相互運用性の確保その他の地方公共団体情報システムに係る互換性の確保に関する標準を定める命令（令和8年デジタル庁・総務省令第8号）」の「文字要件」で定めた標準仕様に従う必要がある。

本APIでサポートするHTTPメソッドはPOSTとする。

提供可能なAPIコールについて

提供するAPIコールは、以下のとおりである。

No.	APIコール名	操作種類	概要
1	app_submit/v10/jutogaishaatenabangofuban	Create	基幹業務システムの住登外者宛名番号付番依頼機能 - 住登外者宛名番号管理機能の住登外者宛名番号付番依頼受信機能、住登外者宛名基本情報送信機能 リクエストパラメータを元に住登外者宛名番号の付番依頼を行う。（付表第1を参照）

APIコールにおける補足事項

■通信プロトコル

本APIを利用する際の通信プロトコルは、HTTP1.1以上を採用する。

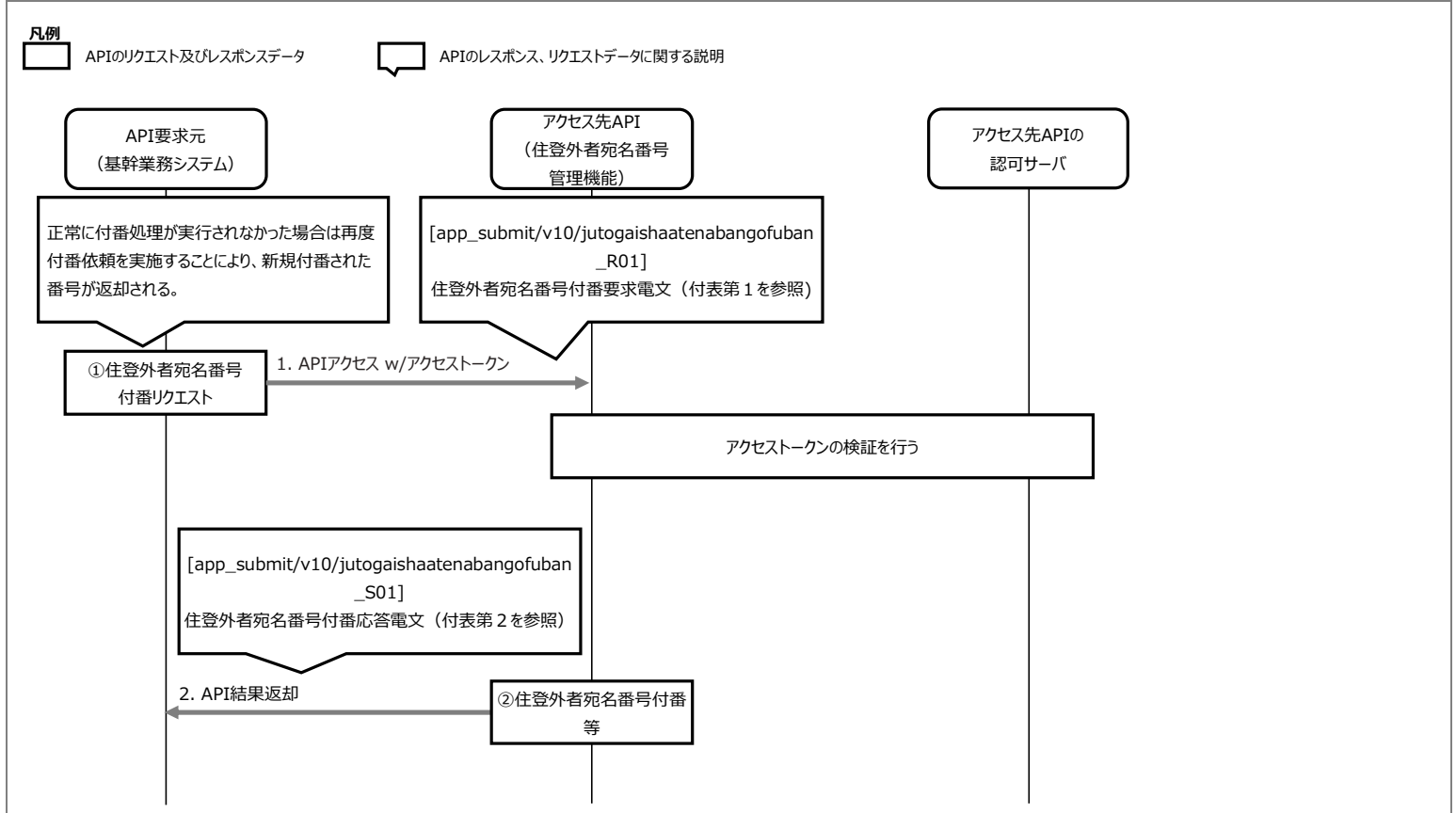
■要求元認証

本APIの要求元認証は、OAuth2.0 アクセストークン：Bearerタイプ、認証方式：client_secret_jwtで行う。

※将来的にID連携に係る対応方針の整理が進められる可能性を踏まえ、当面の間、暫定措置として、以下の認証方式の実装も可能とする。

-OAuth2.0（アクセストークン：Bearer_client_secret_basic）

シーケンス図



別表第四付表第一（第二条関係）

使用方法								
<p>本APIを使用して住登外者宛名番号を付番し、登録する。 正常に登録が完了した場合は、処理結果情報が返却される。正常に登録されなかった場合は、失敗した理由がエラーメッセージとして返却される。 リクエスト/レスポンスは共にJSON形式とする。 HTTPメソッド：POST</p>								
留意事項								
<p>本APIが正常に終了した場合は、HTTPステータスコード200とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第1を参照） 送信したパラメータのチェックにてエラーとなった場合は、HTTPステータスコード400とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第1を参照） 認証情報が取得できないまたはアクセストークンが未指定の場合は、HTTPステータスコード401とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第1を参照） 処理が30秒以上※経過した場合は、タイムアウトとなる。タイムアウトが発生した場合、原則HTTPステータスコード500番台のエラーが返却される。（JSON形式では返却されない）※目安として30秒と記載しているが、性能テストを踏まえ、適切なタイムアウト時間を設定されたい サービスメンテナンス時も同様に原則HTTPステータスコード500番台のエラーが返却される。（JSON形式では返却されない） 上記以外の想定外エラーが発生した場合は、HTTPステータスコード503とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第1を参照） ※1【必須】：「◎」・・・パラメータまたはオブジェクトが必ず出現する。 ※※で始まる記載については、パラメータが「条件付き必須」の場合の条件を記載</p>								
リクエストID	app_submit/v10/jutogaishaatenabangofuban_R01							
Content-Type	application/json							
パラメータ								
項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須 ※1	データ 型	データ長 桁数	検索 方法	備考
1	shikuchosonkodo	市区町村コード	市区町村を一意に識別するコード (指定都市においては区までを特定)	◎	X	6		「全国地方公共団体コード」(総務省)に従って6桁のコード値を設定すること
2	kojinbango	個人番号	特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年法律第27号)に基づき、行政手続における特定の個人を識別するために各市区町村から住民に指定される番号		X	12		
3	shimei	氏名	住登外者の氏名		N	100		<ul style="list-style-type: none"> ・日本人住登外者の場合は、氏と名の間に全角の空白を一文字入れる ・漢字氏名がある外国人住登外者の場合は、ローマ字氏名+漢字氏名の形で記載し、間に全角の空白を一文字入れる ・外国人住登外者の場合は、氏名を構成する要素(氏と名、名(ファーストネーム)と中間名(ミドルネーム)と氏(ラストネーム)と氏(ラストネーム)など)の間に全角の空白を一文字入れる ・氏名未定でない場合は出力すること
4	uji_nihonjin	氏_日本人	日本人住登外者の氏		N	50		日本人住登外者の場合は出力すること
5	na_nihonjin	名_日本人	日本人住登外者の名		N	50		日本人住登外者の場合かつ名未定ではない場合は出力すること
6	shimei_gaikokujinromaji	氏名_外国人ローマ字	外国人住登外者の氏名(ローマ字)		N	100		<ul style="list-style-type: none"> ・氏名を構成する要素(氏と名、名(ファーストネーム)と中間名(ミドルネーム)と氏(ラストネーム)など)の間に全角の空白を一文字入れる ・ローマ字表記での氏名を有する外国人住登外者は出力すること
7	shimei_gaikokujinkanji	氏名_外国人漢字	外国人住登外者の氏名(漢字)		N	100		<ul style="list-style-type: none"> ・氏名を構成する要素(氏と名、名(ファーストネーム)と中間名(ミドルネーム)と氏(ラストネーム)など)の間に全角の空白を一文字入れる ・漢字表記での氏名を有する外国人住登外者は出力すること

項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須 ※1	データ 型	データ長	検索 方法	備考
						桁数		
8	shimei_furigana	氏名_振り仮名 (フリガナ)	住登外者の氏名の振り仮名若しくはフリガナ		N	100		<ul style="list-style-type: none"> 氏名を構成する要素 (氏と名、名 (ファーストネーム) と中間名 (ミドルネーム) と氏 (ラストネーム) など) の間に空白を一文字入れる ローマ字表記での氏名のみを有している等でフリガナを保有していない外国人住登外者の場合以外は、出力すること カタカナにて出力すること
9	uji_nihonjin_furigana	氏_日本人_振り仮名	日本人住登外者の氏 (振り仮名)		N	50		<ul style="list-style-type: none"> 日本人住登外者の場合は出力すること カタカナにて出力すること
10	na_nihonjin_furigana	名_日本人_振り仮名	日本人住登外者の名 (振り仮名)		N	50		<ul style="list-style-type: none"> 日本人住登外者の場合かつ名未定ではない場合は出力すること カタカナにて出力すること
11	tsusho	通称	外国人住登外者の通称		N	100		氏名を構成する要素 (氏と名、名 (ファーストネーム) と中間名 (ミドルネーム) と氏 (ラストネーム) など) の間に全角の空白を一文字入れる
12	tsusho_furigana	通称_フリガナ	外国人住登外者の通称 (フリガナ)		N	100		氏名を構成する要素 (氏と名、名 (ファーストネーム) と中間名 (ミドルネーム) と氏 (ラストネーム) など) の間に全角の空白を一文字入れる
13	tsusho_furiganakakuninjokyo	通称_フリガナ確認状況	外国人住登外者の通称 (フリガナ) について、本人確認有無を示すフラグ (0: 無、1: 有)		X	1		※※通称_フリガナを入力した場合は必須
14	seibetsu	性別	住登外者の性別を示すコード		X	1		
15	seinengappi	生年月日	住登外者の生年月日		DATE	10		不詳日を許容する (不詳の場合は、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第7条第1項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち電磁的記録において用いられる用語及び符号の相互運用性の確保その他の地方公共団体情報システムに係る互換性の確保に関する標準を定める命令 (令和8年デジタル庁・総務省令第8号) に規定するとおり出力すること)
16	seinengappi_fushofuragu	生年月日_不詳フラグ	生年月日が不詳の場合に、不詳であることを示すフラグ (0: 不詳でない、1: 不詳)		X	1		
17	seinengappi_fushohyoki	生年月日_不詳表記	生年月日が不詳である場合の不詳日表記		N	72		※※生年月日_不詳フラグが1の場合は必須
18	jusho_shikuchosonkodo	住所_市区町村コード	住所 (都道府県から市区町村まで) を一意に識別できるコード (指定都市においては区までを特定)		X	6		「全国地方公共団体コード」 (総務省) に従って6桁のコード値を設定すること
19	jusho_choazakodo	住所_町字コード	住所 (町字) を一意に識別できるコード		X	7		<ul style="list-style-type: none"> デジタル庁が整備するアドレス・ベース・レジストリ「町字マスターデータセット」で規定された町字IDのコード値を設定すること アドレス・ベース・レジストリ「町字マスターデータセット」に規定がない町字の場合は、9999999を設定すること 住所に町字がない場合は、0000000を設定すること

項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須 ※ 1	デー タ 型	データ長	検索 方法	備考
						桁数		
20	shiteitoshi_gyoseikutokodo	指定都市_行政区等コード	自治体ごとに定める任意の行政範囲を示すコード		X	12		・各自治体固有のコード利用を想定 ・総合支所等、任意の行政範囲を示すコード
21	jusho_todofuken	住所_都道府県	住登外者の住所における都道府県		N	4		
22	jusho_shikugunchosonmei	住所_市区郡町村名	住登外者の住所における市区郡町村名		N	12		
23	jusho_choaza	住所_町字	住登外者の住所における町字（丁目を含む）		N	120		住所に町字が存在する場合は出力すること
24	jusho_banchigohyoki	住所_番地号表記	住登外者の住所における番地号の日本語を含む表記（住居表示を実施していない区域においては「番地」、住居表示を実施している区域においては「番」及び「号」で表記する。）		N	50		住所に番地号が存在する場合は出力すること
25	jusho_katagaki	住所_方書	住登外者の住所における方書		N	300		住所に方書が存在する場合は出力すること
26	jusho_katagaki_furigana	住所_方書_フリガナ	住登外者の住所における方書（フリガナ）		N	300		
27	jusho_yubinbango	住所_郵便番号	住登外者の住所における郵便番号		X	7		
28	jusho_kokumeikodo	住所_国名コード	国名コード		X	3		・各自治体にて入管指定コード又はJIS X0304をベースに任意に規定する ・JIS X0304で規定する場合はアルファベット3文字とする
29	jusho_kokumeito	住所_国名等	国名名称		N	100		※※住所_国名コードを入力した場合は必須
30	jusho_kokugaijusho	住所_国外住所	国外住所		N	300		
31	gyomuid	業務ID	住登外者宛名基本情報を登録、利用する業務のID		X	3		・デジタル庁によって定められた「地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化における各種IDの管理方針」にしたがって業務IDを設定すること ・対象のIDがない場合にはデフォルト値を設定すること。デフォルト値は「000」
32	dokujishisakushisutemutoid	独自施策システム等ID	住登外者宛名基本情報を登録、利用する独自施策システム等のID		X	3		・独自施策システム等IDを設定すること ・対象のIDがない場合にはデフォルト値を設定すること。デフォルト値は「000」

項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須 ※ 1	データ 型	データ長	検索 方法	備考
						桁数		
33	nayosemotofuragu	名寄せ元フラグ	名寄せを実施した際に名寄せ元を判断するフラグ	◎	X	1		デフォルトは「0」
34	nayosesakiatenabango	名寄せ先宛名番号	・名寄せを実施した際に名寄せ先となる宛名番号が存在する場合、入力される番号 ・住登外者宛名番号管理機能においては「住登外者宛名番号」を管理する		X	15		※※名寄せ元フラグが1の場合は必須
35	tagyomusanshofukafuragu	他業務参照不可フラグ	宛名基本情報を登録した基幹業務システム以外の基幹業務システムが参照可能かどうかを示すためのコード	◎	X	1		・住基ネットから取得した宛名基本情報など、他の基幹業務システムが参照してはならない宛名基本情報である場合に登録する ・他業務参照不可フラグが1（不可）の場合、業務IDもしくは独自施策システム等IDが一致する場合のみ宛名基本情報を返却すること。
36	sosashaid	操作者ID	操作者を一意に識別するコード	◎	X	10		
37	sosanengappi	操作年月日	操作を行った年月日	◎	DATE	10		
38	sosajikoku	操作時刻	操作を行った時刻	◎	TIME	8		

別表第四付表第二（第二条関係）

留意事項										
※1【必須】：「◎」… パラメータまたはオブジェクトが必ず出現する。										
※2【null設定有無】：「-」…値にnullは設定されない。										
レスポンスID		app_submit/v10/jutogaishaatenabangofuban_S01								
Content-Type		application/json;charset=UTF-8								
項番	レベル	レスポンスオブジェクト名 階層	項目名	項目説明	必須 ※1	null設 定有無 ※2	データ 型	データ長 桁数	備考	
■ 正常系（HTTPステータスコード：200、JSON形式でのレスポンス）										
1	1	レスポンスオブジェクト			◎	-	構造化	-		
2	2	metadata	レスポンスメタデータ	レスポンスについてのメタデータを格納する	◎	-	構造化	-		
3	3	title	タイトル	機能名称の日本語名	◎	-	N	100		
4	3	detail	処理結果メッセージ	処理結果の日本語名	◎	-	N	10	"登録が完了しました。"固定値	
5	2	_links	リンク情報宣言	リンク情報宣言	◎	-	構造化	-		
6	3	self	自身のリンク	自身のリンク	◎	-	構造化	-		
7	4	href	URL	URL	◎	-	X	200	実行したAPIのURL（APIコール名）が入る。	
8	2	result	処理結果データ	処理結果のデータを格納する	◎	-	配列 構造化	-		
9	3	shikuchosonkodo	市区町村コード	市区町村を一意に識別するコード（指定都市においては区までを特定）	◎	-	X	6	「全国地方公共団体コード」（総務省）に従って6桁のコード値を設定すること	
10	3	atenabango	宛名番号	・自治体内において、個人を一意に識別する番号 ・住登外者宛名番号管理機能においては「住登外者宛名番号」を管理する。	◎	-	X	15		
11	3	rire kibango	履歴番号	宛名番号ごとに履歴情報を管理する番号	◎	-	9	3		
12	3	sosashaid	操作者ID	操作者を一意に識別するコード	◎	-	X	10		
13	3	sosanengappi	操作年月日	操作を行った年月日	◎	-	DATE	10		
14	3	sosajikoku	操作時刻	操作を行った時刻	◎	-	TIME	8		
15					◎	-	-	-		

項番	レベル	レスポンスオブジェクト名														項目名	項目説明	必須 ※ 1	null設 定有無 ※ 2	デー タ 型	データ長	備考		
		階層																			桁数			
■ 正常系エラー（HTTPステータスコード：400、JSON形式でのレスポンス）																								
1	1	レスポンスオブジェクト																◎	-	構造化	-			
2	2	title																タイトル	機能名称の日本語名	◎	-	N	100	
3	2	detail															処理結果メッセージ	処理結果の日本語名	◎	-	N	11	"エラーが発生しました。"固定値	
4	2	_links															リンク情報宣言	リンク情報宣言	◎	-	構造化	-		
5	3	self															自身のリンク	自身のリンク	◎	-	構造化	-		
6	4	href															URL	URL	◎	-	X	200	実行したAPIのURL（APIコール名）が入る。	
7	2	errors															エラーリスト	パラメータをチェックした結果のリスト	◎	-	配列 構 造 化	-		
8	3	code															エラーコード	エラーにつけられている番号	◎	-	X	5	エラーコード一覧のエラーコードが入る。	
9	3	message															エラーメッセージ	エラーの内容	◎	-	X, N 混在	-	エラーコード一覧のエラーメッセージが入る。	
10																			◎	-	-	-		
■ 正常系エラー（HTTPステータスコード：401、JSON形式でのレスポンス）																								
1	1	レスポンスオブジェクト																◎	-	構造化	-			
2	2	title															タイトル	機能名称の日本語名	◎	-	N	100		
3	2	detail															処理結果メッセージ	処理結果の日本語名	◎	-	N	14	"アクセストークンが無効です。"固定値	
4	2	_links															リンク情報宣言	リンク情報宣言	◎	-	構造化	-		
5	3	self															自身のリンク	自身のリンク	◎	-	構造化	-		
6	4	href															URL	URL	◎	-	X	200	実行したAPIのURL（APIコール名）が入る。	
7																			◎	-	-	-		

項番	レベル	レスポンスオブジェクト名													項目名	項目説明	必須 ※ 1	null設 定有無 ※ 2	デー タ 型	データ長	備考			
		階層																		桁数				
■異常系（HTTPステータスコード：503、JSON形式でのレスポンス(ただし、30秒以上タイムアウトエラー、サービスメンテナンス中は、原則HTTPステータスコード500番台のエラーが返却され、JSON形式では返却されない)）																								
1	1	レスポンスオブジェクト															◎	-	構造化	-				
2	2	title																タイトル	機能名称の日本語名	◎	-	N	100	
3	2	detail																処理結果メッセージ	処理結果の日本語名	◎	-	N	15	"想定外のエラーが発生しました。"固定値
4	2	_links																リンク情報宣言	リンク情報宣言	◎	-	構造化	-	
5	3	self																自身のリンク	自身のリンク	◎	-	構造化	-	
6	4	href																URL	URL	◎	-	X	200	実行したAPIのURL（APIコール名）が入る。
7																				◎	-	-	-	

エラーコード一覧

項番	エラーコード	エラー名	エラー内容	備考
1	E0001	必須エラー	【項目名】が設定されていません。	必須のパラメータが設定されていない状態。
2	E0002	指定文字エラー	【項目名】は【指定文字】で設定してください。	パラメータの文字種に指定できない文字が使われている状態。
3	E0003	桁数エラー（固定項目）	【項目名】はX桁で設定してください。	パラメータの固定桁項目の桁数が誤っている状態。
4	E0004	関連チェックエラー	【項目名】が設定されている場合、【項目名】は設定必須です。	パラメータの項目設定が誤っている状態。

別表第五（第二条関係）

別表第5の適用に関する通則

別表第1の通則の規定は、この表の適用について準用する。

概要
 本資料は、住登外者宛名基本情報照会APIをAPIコールして実施するためのAPI仕様について記述したものである。
 「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第7条第1項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち電磁的記録において用いられる用語及び符号の相互運用性の確保その他の地方公共団体情報システムに係る互換性の確保に関する標準を定める命令（令和8年デジタル庁・総務省令第8号）」の「文字要件」で定めた標準仕様に従う必要がある。
 本APIでサポートするHTTPメソッドはPOSTとする。
 提供可能なAPIコールについて

提供するAPIコールは、以下のとおりである。

No.	APIコール名	操作種類	概要
1	app_submit/v10/jutogaishaatenakihonjohosyokai	Read	基幹業務システムの住登外者宛名基本情報照会依頼機能 - 住登外者宛名番号管理機能の住登外者宛名基本情報照会機能 リクエストパラメータを元に住登外者候補者の宛名基本情報の照会依頼を行う。（付表第1を参照）

APIコールにおける補足事項

■ 通信プロトコル

本APIを利用する際の通信プロトコルは、HTTP1.1以上を採用する。

■ 要求元認証

本APIの要求元認証は、OAuth2.0 アクセストークン：Bearerタイプ、認証方式：client_secret_jwtで行う。

※将来的にID連携に係る対応方針の整理が進められる可能性を踏まえ、当面の間、暫定措置として、以下の認証方式の実装も可能とする。

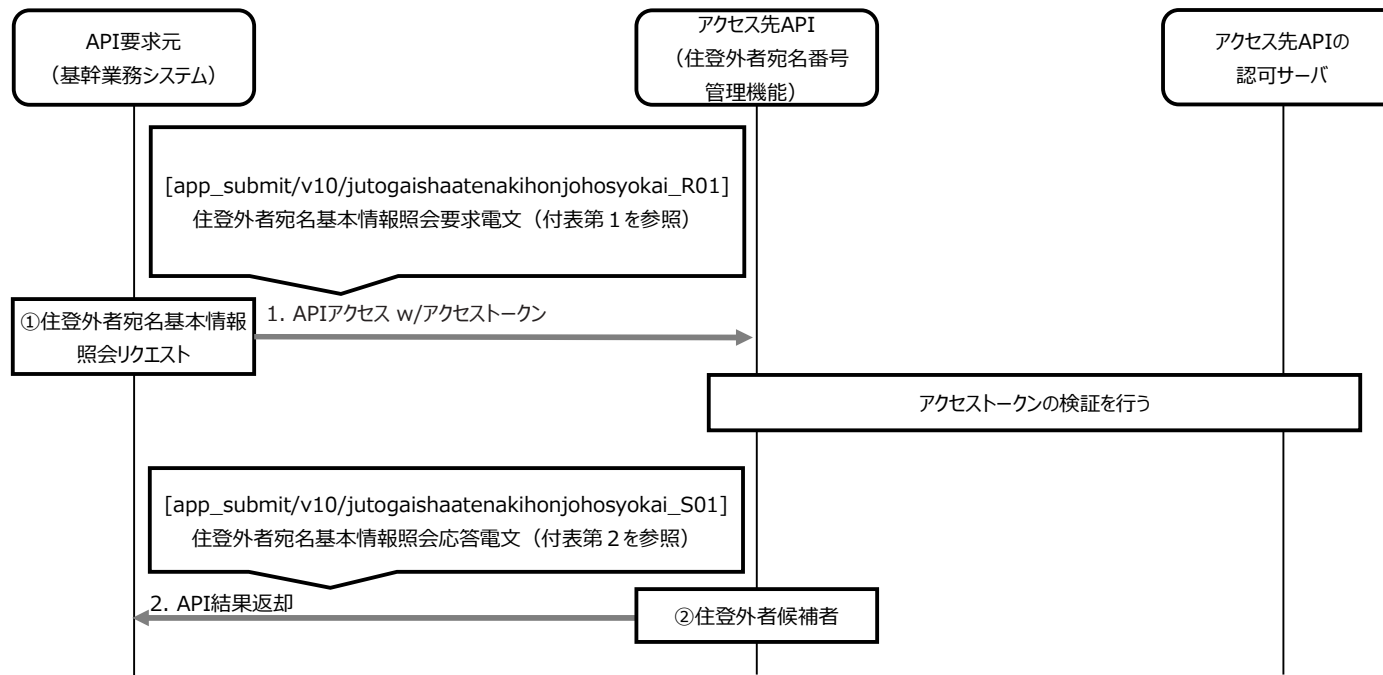
-OAuth2.0（アクセストークン：Bearer client_secret_basic）

シーケンス図

凡例

□ APIのリクエスト及びレスポンスデータ

□ APIのレスポンス、リクエストデータに関する説明



別表第五付表第一（第二条関係）

使用方法								
<p>本APIを使用して住登外者宛名基本情報を照会する。抽出条件は、パラメータに設定した値のAND条件とし、パラメータが未入力の場合は抽出条件の対象外となる。 正常に照会が完了した場合は、処理結果情報が返却される。既に宛名番号が付番されている住登外者宛名基本情報がある場合、候補となる住登外者宛名基本情報が返却される。正常に登録されなかった場合は、失敗した理由がエラーメッセージとして返却される。 リクエスト/レスポンスは共にJSON形式とする。 HTTPメソッド:POST</p>								
留意事項								
<p>本APIが正常に終了した場合は、HTTPステータスコード200とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第2を参照） データを複数取得する際に件数を分割して取得しなければならない場合（データ量が多く30秒以上経過しタイムアウトになること防ぐ場合、一部データを取得したい場合等）、パラメータにlimit、offsetを記載する。 送信したパラメータのチェックにてエラーとなった場合は、HTTPステータスコード400とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第2を参照） 認証情報が取得できないまたはアクセストークンが未指定の場合は、HTTPステータスコード401とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第2を参照） 処理が30秒以上※経過した場合は、タイムアウトとなる。タイムアウトが発生した場合、原則HTTPステータスコード500番台のエラーが返却される。（JSON形式では返却されない）※目安として30秒と記載しているが、性能テストを踏まえ、適切なタイムアウト時間を設定されたい サービスメンテナンス時も同様に原則HTTPステータスコード500番台のエラーが返却される。（JSON形式では返却されない） 上記以外の想定外エラーが発生した場合は、HTTPステータスコード503とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第2を参照） ※1【必須】：「◎」・・・パラメータまたはオブジェクトが必ず出現する。「」（空白）・・・パラメータまたはオブジェクトが出現しない場合がある。 ※※で始まる記載については、パラメータが「条件付き必須」の場合の条件を記載</p>								
リクエストID	app_submit/v10/jutogaishaatenakihonjohosyokai_R01							
Content-Type	application/json							
パラメータ								
項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須 ※1	データ 型	データ長 桁数	検索方 法	備考
1	shikuchosonkodo	市区町村コード	市区町村を一意に識別するコード (指定都市においては区までを特定)	◎	X	6		「全国地方公共団体コード」(総務省)に従って6桁のコード値を設定すること
2	atenabango	宛名番号	・自治体内において、個人を一意に識別する番号 ・住登外者宛名番号管理機能においては「住登外者宛名番号」を管理する。		X	15		
3	atenabango_kensakujoken	宛名番号_検索条件	宛名番号の検索条件を指定する (0:完全一致、1:部分一致)		X	1		※※宛名番号を入力した場合は必須
4	kojinbango	個人番号	特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年法律第27号)に基づき、行政手続における特定の個人を識別するために各市区町村から住民に指定される番号		X	12	完全一致	
5	shimei	氏名	住登外者の氏名		N	100		・日本人住登外者の場合は、氏と名の間に全角の空白を一文字入れる ・漢字氏名がある外国人住登外者の場合は、ローマ字氏名+漢字氏名の形で記載し、間に全角の空白を一文字入れる ・外国人住登外者の場合は、氏名を構成する要素(氏と名、名(ファーストネーム)と中間名(ミドルネーム)と氏(ラストネーム)など)の間に全角の空白を一文字入れる ・氏名未定でない場合は出力すること
6	shimei_kensakujoken	氏名_検索条件	住登外者の氏名の検索条件を指定する (0:完全一致、1:部分一致)		X	1		※※氏名を入力した場合は必須
7	uji_nihonjin	氏_日本人	日本人住登外者の氏		N	50		日本人住登外者の場合は出力すること

項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須 ※1	データ 型	データ長	検索方 法	備考
						桁数		
8	uji_nihonjin_kensakujoken	氏_日本人_検索条件	住登外者の氏の検索条件を指定する(0:完全一致、1:部分一致)		X	1		※※氏_日本人を入力した場合は必須
9	na_nihonjin	名_日本人	日本人住登外者の名		N	50		日本人住登外者の場合かつ名未定ではない場合は出力すること
10	na_nihonjin_kensakujoken	名_日本人_検索条件	住登外者の名の検索条件を指定する(0:完全一致、1:部分一致)		X	1		※※名_日本人を入力した場合は必須
11	shimei_gaikokujinromaji	氏名_外国人ローマ字	外国人住登外者の氏名(ローマ字)		N	100		・氏名を構成する要素(氏と名、名(ファーストネーム)と中間名(ミドルネーム)と氏(ラストネーム)など)の間に全角の空白を一文字入れる ・ローマ字表記での氏名を有する外国人住登外者は出力すること
12	shimei_gaikokujinromaji_kensakujoken	氏名_外国人ローマ字_検索条件	外国人住登外者の氏名(ローマ字)の検索条件を指定する(0:完全一致、1:部分一致)		X	1		※※氏名_外国人ローマ字を入力した場合は必須
13	shimei_gaikokujinkanji	氏名_外国人漢字	外国人住登外者の氏名(漢字)		N	100		・氏名を構成する要素(氏と名、名(ファーストネーム)と中間名(ミドルネーム)と氏(ラストネーム)など)の間に全角の空白を一文字入れる ・漢字表記での氏名を有する外国人住登外者は出力すること
14	shimei_gaikokujinkanji_kensakujoken	氏名_外国人漢字_検索条件	外国人住登外者の氏名(漢字)の検索条件を指定する(0:完全一致、1:部分一致)		X	1		※※氏名_外国人漢字を入力した場合は必須
15	shimei_furigana	氏名_振り仮名(フリガナ)	住登外者の氏名の振り仮名若しくはフリガナ		N	100		・氏名を構成する要素(氏と名、名(ファーストネーム)と中間名(ミドルネーム)と氏(ラストネーム)など)の間に空白を一文字入れる ・ローマ字表記での氏名のみを有している等でフリガナを保有していない外国人住登外者の場合以外は、出力すること ・カタカナにて出力すること
16	shimei_furigana_kensakujoken	氏名_振り仮名(フリガナ)_検索条件	住登外者の氏名の振り仮名若しくはフリガナの検索条件を指定する(0:完全一致、1:部分一致)		X	1		※※氏名_振り仮名(フリガナ)を入力した場合は必須
17	uji_nihonjin_furigana	氏_日本人_振り仮名	日本人住登外者の氏(振り仮名)		N	50		・日本人住登外者の場合は出力すること ・カタカナにて出力すること
18	uji_nihonjin_furigana_kensakujoken	氏_日本人_振り仮名_検索条件	日本人住登外者の氏(振り仮名)の検索条件を指定する(0:完全一致、1:部分一致)		X	1		※※氏_日本人_振り仮名を入力した場合は必須
19	na_nihonjin_furigana	名_日本人_振り仮名	日本人住登外者の名(振り仮名)		N	50		・日本人住登外者の場合かつ名未定ではない場合は出力すること ・カタカナにて出力すること
20	na_nihonjin_furigana_kensakujoken	名_日本人_振り仮名_検索条件	日本人住登外者の名(振り仮名)の検索条件を指定する(0:完全一致、1:部分一致)		X	1		※※名_日本人_振り仮名を入力した場合は必須
21	tsusho	通称	外国人住登外者の通称		N	100		氏名を構成する要素(氏と名、名(ファーストネーム)と中間名(ミドルネーム)と氏(ラストネーム)など)の間に全角の空白を一文字入れる

項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須 ※1	データ 型	データ長	検索方 法	備考
						桁数		
22	tsusho_kensakujoken	通称_検索条件	外国人住登外者の通称の検索条件を指定する（0：完全一致、1：部分一致）		X	1		※※通称を入力した場合は必須
23	tsusho_furigana	通称_フリガナ	外国人住登外者の通称（フリガナ）		N	100		氏名を構成する要素（氏と名、名（ファーストネーム）と中間名（ミドルネーム）と氏（ラストネーム）など）の間に全角の空白を一文字入れる
24	tsusho_furigana_kensakujoken	通称_フリガナ_検索条件	外国人住登外者の通称（フリガナ）の通称の検索条件を指定する（0：完全一致、1：部分一致）		X	1		※※通称_フリガナを入力した場合は必須
25	tsusho_furiganakakuninjokyo	通称_フリガナ確認状況	外国人住登外者の通称（フリガナ）について、本人確認有無を示すフラグ（0：無、1：有）		X	1		※※通称_フリガナを入力した場合は必須
26	seibetsu	性別	住登外者の性別を示すコード		X	1		
27	seinengappi	生年月日	住登外者の生年月日		DATE	10		不詳日を許容する（不詳の場合は、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第7条第1項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち電磁的記録において用いられる用語及び符号の相互運用性の確保その他の地方公共団体情報システムに係る互換性の確保に関する標準を定める命令（令和8年デジタル庁・総務省令第8号）に規定するとおり出力すること）
28	seinengappi_kensakujoken	生年月日_検索条件	住登外者の生年月日の検索条件を指定する（0：完全一致、1：部分一致）		X	1		※※生年月日を入力した場合は必須
29	seinengappi_fushofuragu	生年月日_不詳フラグ	生年月日が不詳の場合に、不詳であることを示すフラグ（0：不詳でない、1：不詳）		X	1		
30	seinengappi_fushohyoki	生年月日_不詳表記	生年月日が不詳である場合の不詳日表記		N	72		※※生年月日_不詳フラグが1の場合は必須
31	seinengappi_fushohyoki_kensakujoken	生年月日_不詳表記_検索条件	生年月日が不詳である場合の不詳日表記の検索条件を指定する（0：完全一致、1：部分一致）		X	1		※※生年月日_不詳表記を入力した場合は必須
32	jusho_shikuchosonkodo	住所_市区町村コード	住所（都道府県から市区町村まで）を一意に識別できるコード（指定都市においては区までを特定）		X	6		「全国地方公共団体コード」（総務省）に従って6桁のコード値を設定すること
33	jusho_choazakodo	住所_町字コード	住所（町字）を一意に識別できるコード		X	7		・デジタル庁が整備するアドレス・ベース・レジストリ「町字マスターデータセット」で規定された町字IDのコード値を設定すること ・アドレス・ベース・レジストリ「町字マスターデータセット」に規定がない町字の場合は、9999999を設定すること ・住所に町字がない場合は、0000000を設定すること
34	shiteitoshi_gyoseikutokodo	指定都市_行政区等コード	自治体ごとに定める任意の行政範囲を示すコード		X	12		・各自自治体固有のコード利用を想定 ・総合支所等、任意の行政範囲を示すコード

項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須 ※1	データ 型	データ長	検索方 法	備考
						桁数		
35	jusho_todofuken	住所_都道府県	住登外者の住所における都道府県		N	4		
36	jusho_shikugunchosonmei	住所_市区郡町村名	住登外者の住所における市区郡町村名		N	12		
37	jusho_shikugunchosonmei_kensakujoken	住所_市区郡町村名_検索条件	住登外者の住所における市区郡町村名の検索条件を指定する（0：完全一致、1：部分一致）		X	1		※※住所_市区郡町村名を入力した場合は必須
38	jusho_choaza	住所_町字	住登外者の住所における町字（丁目を含む）		N	120		住所に町字が存在する場合は出力すること
39	jusho_choaza_kensakujoken	住所_町字_検索条件	住登外者の住所における町字（丁目を含む）の検索条件を指定する（0：完全一致、1：部分一致）		X	1		※※住所_町字を入力した場合は必須
40	jusho_banchigohyoki	住所_番地号表記	住登外者の住所における番地号の日本語を含む表記（住居表示を実施していない区域においては「番地」、住居表示を実施している区域においては「番」及び「号」で表記する。）		N	50		住所に番地号が存在する場合は出力すること
41	jusho_banchigohyoki_kensakujoken	住所_番地号表記_検索条件	住登外者の住所における番地号の日本語を含む表記の検索条件を指定する（0：完全一致、1：部分一致）		X	1		※※住所_番地号表記を入力した場合は必須
42	jusho_katagaki	住所_方書	住登外者の住所における方書		N	300		住所に方書が存在する場合は出力すること
43	jusho_katagaki_kensakujoken	住所_方書_検索条件	住登外者の住所における方書の検索条件を指定する（0：完全一致、1：部分一致）		X	1		※※住所_方書を入力した場合は必須
44	jusho_katagaki_furigana	住所_方書_フリガナ	住登外者の住所における方書（フリガナ）		N	300		
45	jusho_katagaki_furigana_kensakujoken	住所_方書_フリガナ_検索条件	住登外者の住所における方書（フリガナ）の検索条件を指定する（0：完全一致、1：部分一致）		X	1		※※住所_方書_フリガナを入力した場合は必須
46	jusho_yubinbango	住所_郵便番号	住登外者の住所における郵便番号		X	7		
47	jusho_yubinbango_kensakujoken	住所_郵便番号_検索条件	住登外者の住所における郵便番号の検索条件を指定する（0：完全一致、1：部分一致）		X	1		※※住所_郵便番号を入力した場合は必須
48	jusho_kokumeikodo	住所_国名コード	国名コード		X	3		・各自治体にて入管指定コード又はJIS X0304をベースに任意に規定する ・JIS X0304で規定する場合はアルファベット3文字とする

項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須 ※1	データ 型	データ長	検索方 法	備考
						桁数		
49	jusho_kokumeito	住所_国名等	国名名称		N	100		※※住所_国名コードを入力した場合は必須
50	jusho_kokugaijusho	住所_国外住所	国外住所		N	300		
51	gyomuid	業務ID	住登外者宛名基本情報を登録、利用する業務のID		X	3		・デジタル庁によって定められた「地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化における各種IDの管理方針」にしたがって業務IDを設定すること ・対象のIDがない場合にはデフォルト値を設定すること。デフォルト値は「000」
52	dokujishisakushisutemutoid	独自施策システム等ID	住登外者宛名基本情報を登録、利用する独自施策システム等のID		X	3		・独自施策システム等IDを設定すること ・対象のIDがない場合にはデフォルト値を設定すること。デフォルト値は「000」
53	tagyomusanshofukafuragu	他業務参照不可フラグ	宛名基本情報を登録した基幹業務システム以外の基幹業務システムが参照可能かどうかを示すためのコード		X	1		・住基ネットから取得した宛名基本情報など、他の基幹業務システムが参照してはならない宛名基本情報である場合に登録する ・他業務参照不可フラグが1（不可）の場合、業務IDもしくは独自施策システム等IDが一致する場合のみ宛名基本情報を返却すること。
54	sosashaid	操作者ID	操作者を一意に識別するコード		X	10		

項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須 ※1	データ 型	データ長	検索方 法	備考
						桁数		
55	sosashaid_kensakujoken	操作者ID_検索条件	操作者IDの検索条件を指定する (0:完全一致、1:部分一致)		X	1		※※操作者IDを入力した場合は必須
56	sosanengappifrom	操作年月日FROM	操作を行った年月日		DATE	10	完全 一致	
57	sosajikokufrom	操作時刻FROM	操作を行った時刻		TIME	8	完全 一致	
58	sosanengappito	操作年月日TO	操作を行った年月日		DATE	10	完全 一致	
59	sosajikokuto	操作時刻TO	操作を行った時刻		TIME	8	完全 一致	
60	limit	取得数上限	取得する件数の上限を指定		9	-		対象の住登外者宛名基本情報が複数ある場合、候補となる住登外者宛名基本情報が返却されるため取得数上限を設定する。
61	offset	取得位置 (開始)	一覧取得時の取得開始位置を指定		9	-		limitを設定する場合は、offsetも設定すること

別表第五付表第二（第二条関係）

留意事項																			
※1【必須】：「◎」…パラメータまたはオブジェクトが必ず出現する。「」（空白）…パラメータまたはオブジェクトが出現しない場合がある。																			
※2【null設定有無】：「○」…値にnullが設定される場合がある。「-」…値にnullは設定されない。																			
※※で始まる記載については、パラメータが「条件付き必須」の場合の条件を記載																			
レスポンスID		app_submit/v10/jutogaishaatenakihonjohosyokai_S01																	
Content-Type		application/json;charset=UTF-8																	
項番	レベル	レスポンスオブジェクト名										項目名	項目説明	必須 ※1	null設 定有無 ※2	デー タ型	繰 り返 し	デー タ 長 桁 数	備考
		階層																	
■ 正常系（HTTPステータスコード：200、JSON形式でのレスポンス）																			
1	1	レスポンスオブジェクト												◎	-	構造化		-	
2	2	metadata										レスポンスメタデータ	レスポンスについてのメタデータを格納する	◎	-	構造化		-	
3	3	title										タイトル	機能名称の日本語名	◎	-	N		100	
4	3	detail										処理結果メッセージ	処理結果の日本語名	◎	-	N		10	"照会が完了しました。"固定値
5	3	counts										取得件数	取得件数	◎	-	9		4	検索結果が0件の場合は、0をセットする。
6	3	total										総対象件数	検索条件の対象となる総件数	◎	-	9		7	検索結果が0件の場合は、0をセットする。 指定した取得数上限以下の場合は、取得件数と同数となる
7	2	_links										リンク情報宣言	リンク情報宣言	◎	-	構造化		-	
8	3	self										自身のリンク	自身のリンク	◎	-	構造化		-	
9	4	href										URL	URL	◎	-	X		200	実行したAPIのURL（APIコール名）が入る。
10	2	result										処理結果データ	処理結果のデータを格納する	◎	-	配列 構造化		-	
11	3	shikuchosonkodo										市区町村コード	市区町村を一意に識別するコード （指定都市においては区までを特定）	◎	-	X		6	「全国地方公共団体コード」（総務省）に従って6桁のコード値を設定すること

項番	レベル	レスポンスオブジェクト名												項目名	項目説明	必須 ※1	null設 定有無 ※2	デー タ 型	繰り返 し	デー タ 長	備考
		階層																		桁数	
12	3	atenabango												宛名番号	・自治体内において、個人を一意に識別する番号 ・住登外者宛名番号管理機能においては「住登外者宛名番号」を管理する。	◎	-	X		15	
13	3	rirekibango												履歴番号	宛名番号ごとに履歴情報を管理する番号	◎	-	9		3	
14	3	saishinfuragu												最新フラグ	当該データが最新かどうかを現すフラグ (0:最新ではない、1:最新である)	◎	-	X		1	
15	3	kojinbango												個人番号	番号法に基づき、行政手続における特定の個人を識別するために各市区町村から住民に指定される番号		○	X		12	
16	3	shimei												氏名	住登外者の氏名		○	N		100	・日本人住登外者の場合は、氏と名の間に全角の空白を一文字入れる ・漢字氏名がある外国人住登外者の場合は、ローマ字氏名+漢字氏名の形で記載し、間に全角の空白を一文字入れる ・外国人住登外者の場合は、氏名を構成する要素(氏と名、名(ファーストネーム)と中間名(ミドルネーム)と氏(ラストネーム)など)の間に全角の空白を一文字入れる
17	3	uji_nihonjin												氏_日本人	日本人住登外者の氏		○	N		50	日本人住登外者の場合は出力すること
18	3	na_nihonjin												名_日本人	日本人住登外者の名		○	N		50	日本人住登外者の場合かつ名未定ではない場合は出力すること
19	3	shimei_gaikokujinromaji												氏名_外国人ローマ字	外国人住登外者の氏名(ローマ字)		○	N		100	・氏名を構成する要素(氏と名、名(ファーストネーム)と中間名(ミドルネーム)と氏(ラストネーム)など)の間に全角の空白を一文字入れる ・ローマ字表記での氏名を有する外国人住登外者は出力すること

項番	レベル	レスポンスオブジェクト名										項目名	項目説明	必須 ※1	null設 定有無 ※2	デー タ 型	繰り返 し	デー タ 長	備考
		階層																桁数	
20	3	shimei_gaikokujinkanji										氏名_外国人漢字	外国人住登外者の氏名（漢字）		○	N		100	<ul style="list-style-type: none"> ・氏名を構成する要素（氏と名、名（ファーストネーム）と中間名（ミドルネーム）と氏（ラストネーム）など）の間に全角の空白を一文入る ・漢字表記での氏名を有する外国人住登外者は出力すること
21	3	shimei_furigana										氏名_振り仮名（フリガナ）	住登外者の氏名の振り仮名若しくはフリガナ		○	N		100	<ul style="list-style-type: none"> ・氏名を構成する要素（氏と名、名（ファーストネーム）と中間名（ミドルネーム）と氏（ラストネーム）など）の間に空白を一文入る ・ローマ字表記での氏名のみを有している等でフリガナを保有していない外国人住登外者の場合以外は、出力すること ・カタカナにて出力すること
22	3	uji_nihonjin_furigana										氏_日本人_振り仮名	日本人住登外者の氏（振り仮名）		○	N		50	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人住登外者の場合は出力すること ・カタカナにて出力すること
23	3	na_nihonjin_furigana										名_日本人_振り仮名	日本人住登外者の名（振り仮名）		○	N		50	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人住登外者の場合かつ名未定ではない場合は出力すること ・カタカナにて出力すること
24	3	tsusho										通称	外国人住登外者の通称		○	N		100	<ul style="list-style-type: none"> 氏名を構成する要素（氏と名、名（ファーストネーム）と中間名（ミドルネーム）と氏（ラストネーム）など）の間に全角の空白を一文入る
25	3	tsusho_furigana										通称_フリガナ	外国人住登外者の通称（フリガナ）		○	N		100	<ul style="list-style-type: none"> 氏名を構成する要素（氏と名、名（ファーストネーム）と中間名（ミドルネーム）と氏（ラストネーム）など）の間に全角の空白を一文入る
26	3	tsusho_furiganakakuninjokyo										通称_フリガナ確認状況	外国人住登外者の通称（フリガナ）について、本人確認有無を示すフラグ（0：無、1：有）		○	X		1	<ul style="list-style-type: none"> ※※通称_フリガナを入力した場合は必須

項番	レベル	レスポンスオブジェクト名												項目名	項目説明	必須 ※1	null設 定有無 ※2	デー タ 型	繰り返 し	デー タ 長 桁数	備考
		階層																			
36	3		jusho_choaza											住所_町字	住登外者の住所における町字（丁目を含む）		○	N		120	住所に町字が存在する場合は出力すること
37	3		jusho_banchigohyoki											住所_番地号表記	住登外者の住所における番地号の日本語を含む表記（住居表示を実施していない区域においては「番地」、住居表示を実施している区域においては「番」及び「号」で表記する。）		○	N		50	住所に番地号が存在する場合は出力すること
38	3		jusho_katagaki											住所_方書	住登外者の住所における方書		○	N		300	住所に方書が存在する場合は出力すること
39	3		jusho_katagaki_furigana											住所_方書_フリガナ	住登外者の住所における方書（フリガナ）		○	N		300	
40	3		jusho_yubinbango											住所_郵便番号	住登外者の住所における郵便番号		○	X		7	
41	3		jusho_kokumeikodo											住所_国名コード	国名コード		○	X		3	・各自治体にて入管指定コード又はJIS X0304をベースに任意に規定する ・JIS X0304で規定する場合はアルファベット3文字とする
42	3		jusho_kokumeito											住所_国名等	国名名称		○	N		100	※※住所_国名コードを入力した場合は必須
43	3		jusho_kokugaijusho											住所_国外住所	国外住所		○	N		300	
44	3		gyomuid											業務ID	住登外者宛名基本情報を登録、利用する業務のID	◎	○	配列 X	100	3	・デジタル庁によって定められた「地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化における各種IDの管理方針」にしたがって業務IDを設定すること ・対象のIDがない場合にはデフォルト値を設定すること。デフォルト値は「000」 ・並び順は昇順とすること
45	3		dokujishisakushisutemutoid											独自施策システム等ID	住登外者宛名基本情報を登録、利用する独自施策システム等のID		○	配列 X	100	3	・独自施策システム等IDを設定すること ・対象のIDがない場合にはデフォルト値を設定すること。デフォルト値は「000」 ・並び順は昇順とすること

項番	レベル	レスポンスオブジェクト名													項目名	項目説明	必須 ※1	null設 定有無 ※2	デー タ 型	繰り返 し	デー タ 長	備考						
		階層																			桁数							
1	1	レスポンスオブジェクト															◎	-	構造化		-							
2	2	title																			タイトル	機能名称の日本語名	◎	-	N		100	
3	2	detail																			処理結果メッセージ	処理結果の日本語名	◎	-	N		15	"想定外のエラーが発生しました。"固定値
4	2	_links																			リンク情報宣言	リンク情報宣言	◎	-	構造化		-	
5	3	self																			自身のリンク	自身のリンク	◎	-	構造化		-	

項番	レベル	レスポンスオブジェクト名														項目名	項目説明	必須 ※1	null設 定有無 ※2	デー タ 型	繰り返 し	デー タ 長	備考						
		階層																				桁数							
6	4																				href	URL	URL	◎	-	X		200	実行したAPIのURL（APIコール名）が入る。
7																								◎	-	-		-	

エラーコード一覧

項番	エラー コード	エラー名	エラー内容	備考
1	E0001	必須エラー	【項目名】が設定されていません。	必須のパラメータが設定されていない状態。
2	E0002	指定文字エラー	【項目名】は【指定文字】で設定してください。	パラメータの文字種に指定できない文字が使われている状態。
3	E0003	桁数エラー（固定項目）	【項目名】はX桁で設定してください。	パラメータの固定桁項目の桁数が誤っている状態。
4	E0004	関連チェックエラー	【項目名】が設定されている場合、【項目名】は設定必須です。	パラメータの項目設定が誤っている状態。